

## ヒト由来のリン酸グリセリン酸ムターゼ2、組換え

Cat. No. NATE-1643

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** ホスホグリセリン酸ムターゼ (PGM) は、解糖系のステップ8を触媒する酵素です。これは、C-3からC-2へのリン酸基の内部移動を触媒し、3-ホスホグリセリン酸 (3PG) を2-ホスホグリセリン酸 (2PG) に交換します。この過程は、2,3-ビスホスホグリセリン酸中間体を介して行われます。これらの酵素は、補因子依存型 (dPGM) または補因子非依存型 (iPGM) の2つの異なるクラスに分類されます。dPGM酵素 (EC 5.4.2.11) は約250のアミノ酸から構成されており、すべての脊椎動物や一部の無脊椎動物、真菌、細菌に存在します。iPGM (EC 5.4.2.12) クラスは、すべての植物や藻類、さらには一部の無脊椎動物、真菌、グラム陽性細菌に見られます。このPGM酵素のクラスは、アルカリフォスファターゼと同じスーパーファミリーに属しています。

**別名** GSD10; PGAM-M; PGAMM; PGAM2

### 製品情報

種	人間
由来	E. coli と N-末端で His タグに融合されました
形態	液体
EC番号	EC 5.4.2.11
分子量	30.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	>100 ユニット/mg
濃度	1 mg/ml
単位定義	1ユニットは、pH 7.6、37°Cで1分あたり1.0 $\mu$ moleの3-ホスホグリセリン酸を2-ホスホグリセリン酸に交換します。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間 (1~2週間) の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。